



りんりんの会
(乳がん体験者の会)

～ひとりじゃないよ！ 仲間がいるよ！～ 凛 (りん) ・ 輪 (りん) ・ 鈴 (りん)

毎日、残暑厳しい日が続いておりますが、会員の皆様、お変わりありませんでしょうか？
少しか朝晩の風が心地よい感じにはなってきましたが、尚、体調には気を付けてお過ごしいただきたいと思います。
りんりん&こころん定例会では、今年も毎月、大崎市図書館にておしゃべり会・相談会・イベントなどを定期的に開催しておりますが、**7 月**には「**健康ヨーガ教室**」を開催致しました。
9 名の患者様方の参加があり、講師（会員・乳がん体験者）の優しいゆったりとしたお声がけに合わせて、無理なく体を動かしたり、呼吸に集中したり…。ストレス緩和・運動機能向上・リラックス効果などが期待されるヨガですが、普段の慌ただしい生活の中では味わえない、とても貴重な空間と穏やかな時間を共有することが出来ました。
講師による「健康ヨーガ教室」は大崎市内で定期的に開催されていますので、今回、参加できず残念だった…と言う方、関心のある方はりんりんにお問い合わせくださいませ。
今後も様々なイベント（勉強会・パステルアート体験会・情報交換会など）を企画しておりますので、会員の方々、または会員以外で参加してみたいな～と思っている方、一緒に話すことで気持ちが軽くなることもあります。
皆さんの話を聞くだけでホッとすることもあるかもしれません。
体験者がお待ちしていますので、どうぞ遠慮なく気軽に足を運んでみてくださいね。

* RinRin & CoCoRin 今後の予定 *

◆ 9/20(土) 骨粗しょう症に関する勉強会 & 情報交換会（☆りんりん&こころん合同企画）

● 場 所：大崎市図書館 2 階研修室 3

● 対象者：がん体験者(女性限定) 医療関係者 ※がん種は問いません。事前申込不要です

第 1 部：「骨粗鬆症とは？～栄養・薬・運動のこと～」 10:00～11:30 ※受付 9:50～

● 講 師：内海政紀氏 大崎市民病院骨粗鬆症マネージャー（大崎骨粗鬆症リエゾンサービスチーム看護師）

第 2 部：情報交換会 11:40～12:30

● 参加費 非会員 200 円（会場・資料代）

◆ 10/25(土) 簡単パステルアート体験会 & おしゃべり会（☆りんりん&こころん合同企画）

● 場 所：大崎市図書館 2 階研修室 2 ● 時間：10:00～12:00 ※受付 9:50～

● 対象者：がん体験者(女性限定) 医療関係者 ※がん種は問いません。事前予約が必要です。

● 講 師：福島美香さん（ピアサポーター）

申込：✉ strinrin320@gmail.com

● 内 容：①簡単パステルアート体験会 10:00～11:00

（※パステルをパウダー状に削って指を使って小さな画用紙に描くアートです。リラックス・癒し効果があります。

絵が苦手な人でも初めてでもお子さんでも簡単に楽しく、短時間で出来ます。）

②福島さんと一緒におしゃべり会 11:00～12:00 ※おしゃべり会だけの参加も可能

● 参加費 500 円（会場・資料・材料代）

～りんりん通信に寄せて No.63～

中村清吾先生の思い出

大崎市民病院副院長 吉田龍一

5月9日、中村清吾先生（昭和医科大学名誉教授）が逝去されました。68歳でした。中村先生は、日本乳癌学会の理事長を長らく務められ、センチネルリンパ節生検や遺伝性乳癌卵巣癌症候群の遺伝学的検査等の保険収載に尽力され、日本の乳がん診療に多大な貢献をした方です。理事長就任時は日本の乳がん診療は20年遅れている、失われた20年と称し、次々と乳がん診療の進むべき方向性を示してくれた、日本の乳がん診療の立役者です。亡くなった後も、新聞やラジオなどでもその功績が報じられました。



中村清吾先生



札幌で。一番奥の筆者の隣が中村先生

中村先生は私の研修医時代の先輩であり、公私共々大変お世話になった先生でした。

先生との出会いは、1988年（昭和63年）4月に外科研修医として聖路加国際病院に入職したときでした。当時中村先生は6年目の医師で外科研修医を束ねるチーフレジデントでした。病棟で初めてお会いし、よくよく笑顔で挨拶されたことを今でも覚えています。それからは毎日の様に顔を合わせるようになりましたが、中村先生は診療のみならず、今でいう病院のIT化を進める役割も担っていました。学生時代からコンピューターに精通していた先生は、外科医師であるにもかかわらず、コンピューター関連の学会で座長を任される様な方でした。そして、1992年現在の病院に移転した際にオーダリングシステムという、検査や、処方など、これまで紙の伝票でやりとりしていたものをパソコン上でできるようにシステムを作り上げたのが中村先生でした。当時、ワープロ専用機はだいぶ普及していましたが、まだウインドウズ95の発売前であり、多くの人がパソコンに触れたことも無い時代でした。マウスって何？初めて見て、初めて手に取り、使い方がわからない人が大多数の時代でした。真偽は定かではありませんが、先生は某大手IT企業から破格の金額で勧誘があったが断ったとも聞いています。

そして、チーフレジデントの頃から当時国内でもできるようになった腹腔鏡下胆嚢摘出術も中村先生が中心となって導入しました。腹腔鏡下胆嚢摘出術は今では研修医が行うポピュラーな術式ですが、当時はまだ試行錯誤的な時代でした。また、まだ手術がメインだった乳がんの診療も中村先生が中心となってやっておられ、私は研修医時代に中村先生の指導の下、乳がん関連の研究発表をしましたし、大阪での乳癌研究会（乳癌学会の前身）にも連れて行っていただきました。その経験が私の乳がん診療へ進むきっかけになったと思います。

先生はその後渡米して米国の乳がん診療を目の当たりにして帰国、聖路加に戻り 2005 年にプレストセンターを立ち上げました。プレストセンターは、従来、外科医が片手間に行くことが多かった乳がん診療を、乳がんの特化した外科医師のみならず、他科の医師や看護師、その他コメディカルなど多職種の方々がチームとして乳がん診療にあたるシステムです。そして、私が 1 年目だった頃年間の乳がん手術件数は 40～50 件だったと思いますが、プレストセンターになってからは 600～700 件を大幅に増えました。2010 年には昭和大学に移られ乳腺外科部門の教授となられ、昭和大学にもプレストセンターを設置しました。その頃先生に会ってお話を伺ったところ、聖路加は一般病院なのでなかなか研究というものができなかったが、大学だとこんなことができるとおっしゃっていました。まさに水を得た魚のようでした。

私もチーフレジデントまで経験したのち、聖路加を辞して宮城県に移ったのですが、その後も学会等でお会いする機会が多々ありました。そんな中、2010 年、仙台で開催された乳癌学会地方会のあるセッションで、私が座長で、発表者が当時東北大学形成外科教授の館正弘先生だったことがありました。館先生は私の聖路加時代の先輩で、中村先生の 1 年下、中村先生の後にチーフレジデントをした方です。そして、この発表の後に特別講演として中村先生が講演することになっていました。中村先生はちょうど館先生が発表しているときに会場に来られ、館君が発表している、あれ？吉田君が座長！？と、とてもびっくりしたと言っていました。後輩二人が壇上でやりとりしていたわけですから、そりゃ驚きますね。

先生は浅草の生まれで、自宅も浅草にあるのですが、ごくたまに研修医たち数人を浅草の行きつけの店に招待して労ってくれたこともありました。札幌で学会があったときも、私を始め聖路加の後輩達を知り合いの寿司屋に誘っていただき昔話に花を咲かしたこともありました(写真)。

そんな先生も、2 年前にステージⅣの膵がんを患っている事が判明したのです。治療を続けながら、学会や公の会合に精力的に出席して、日本の乳がん診療の発展のため尽力していました。2 年前の乳がん学会会場で偶然お会いしたときは、そんな病気を患っているとは知らず、またそんな様子も無く気づきませんでした。その時、「そう言えば、乳がんの臨床に論文投稿してる？」と聞かれ、ハイと答えたところ、実はその論文の査読（論文内容の査定のこと）をしているんだが、吉田君と同姓同名の人で、まさかと思っていたとのことでした。偶然にも中村先生が私の論文を査読してくださり、ボクは OK 出したと言ってくれうれしかった覚えがあります。論文はその後無事掲載されました。

その後、先生はパッと見て中村先生とすぐに判らないくらい痩せましたが、昨年名古屋の外科学会で、中村先生と私の先輩の山内英子先生の 3 人で食事を共にしました。末期がんである悲壮感は全くなく「まだ大丈夫だよ」と言い、今やっている研究のみならず、乳がん診療の未来などたくさん話をされました。食はだいぶ細くなっていましたが、まだお元気でした。今年になり、3 月の東北大学乳腺内分泌外科の石田教授の退官パーティや 4 月の外科学会のため仙台にいらっしゃいました。石田先生の会で話したときは、腹水も溜まってもうダメと笑いながら言っていたのですが、無理してでも出席したかったのだと思います。しかし、4 月末に聖路加国際病院の緩和ケア病棟に入院され最後の時を過ごされました。まだまだやりたいことがあったはずで志半ばで逝かれたことはさぞかし無念だったでしょうが、多くの人材も育てたのでその遺志は継がれていくものと思います。

中村先生、今までありがとうございました。





クロシェカフェ in 大崎 & 石巻

ワークショップ 【Croshet Café in おおさき&いしのまき】開催中♪

～キャップ開けシートを作る会～

※クロシェ…かぎ針編みという意味

●キャップ開けシートってなに？

すべり止めシート（百均）を 11cm 四方にカットし、カラフルな毛糸で細編みしたもの

●手のしびれ・痛み等の副作用対策の一つとして石巻の患者さんが考案、

日本乳癌学会・リレーフォーライフなどで参加者に提供、好評を頂いておりました。

●県内の医療施設などへのご寄付を目標に 6 月から活動を開始、現在まで 2 か所にご寄付することが出来ました。がん体験者や家族、関心のある医療関係者で趣旨に賛同して下さる方々にご参加頂き、地道に活動を継続していこうと考えています。

●関心のある方、参加してみたい方、ご連絡お待ちしております。

※材料はこちらで準備します。かぎ針 4 号程度のものとハサミをご持参ください



初心者でも簡単に
作れます。

一緒に作りながらお話し
する時間もあります。

9/27(土)12:00～28(日)12:30
リレーフォーライフ(仙臺緑彩館)に参加
(売上金を対がん協会にご寄付する予定)

Croshet Café in おおさき

大崎市図書館 2 階研修室で開催

* 9 月 13 日(第 2 土) 13:00～15:00

* 10 月 11 日(第 2 土) 13:00～15:00

※ 11 月以降も開催を予定しておりますが、
決定次第お知らせ致します。

Croshet Café in いしのまき

ワークショップハウス Repos(ルポ)で開催
(石巻市陸前山下駅近く)

* 9 月 25 日(木) 10:00～12:00

※ 10 月以降も開催を予定しておりますが、
決定次第お知らせ致します。

* りんりん研修会のお知らせ *

● 11 月 15 日(土) 大崎市図書館多目的ホールにて開催予定

● 内容：ピンクリボン講演（乳腺専門医による講演）

医療スタッフとの交流会（質疑応答 etc.）

※どなたでも（一般の方も）参加可能です。詳細につきましては後日お知らせいたします。

<お申込み・問い合わせ先>

●りんりん携帯 090-6259-9205 ✉ strinrin320@gmail.com

* 大崎市民病院 地域医療連携室のご協力を頂いて活動しています *